

(別紙 1)

平成 29 年度～平成 38 年度 社会福祉法人相馬福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人相馬福祉会		法人番号	7380005006923				
法人代表者氏名	只野 裕一							
法人の主たる所在地	福島県相馬市小泉字高池 7 1 8 番地							
連絡先	0 2 4 4 - 3 6 - 3 3 4 4							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成 29 年 6 月 1 2 日							
評議員会の承認年月日	平成 29 年 6 月 2 7 日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成 28 年度末現在)	1 か年度目 (平成 29 年度末現在)	2 か年度目 (平成 30 年度末現在)	3 か年度目 (平成 31 年度末現在)	4 か年度目 (平成 32 年度末現在)	5 か年度目 (平成 33 年度末現在)	6 か年度目 (平成 34 年度末現在)	社会福祉 充実事業 未充当額
	237,730	229,882	229,162	228,442	227,722	127,002	127,002	
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		△7,848	△720	△720	△720	△100,720	0	
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	7 か年度目 (平成 35 年度末現在)	8 か年度目 (平成 36 年度末現在)	9 か年度目 (平成 37 年度末現在)	10 か年度目 (平成 38 年度末現在)			合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	127,002	0						0
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)	0	△127,002					△237,730	
本計画の対象期間	平成 29 年 8 月 1 日 ~ 平成 38 年 3 月 3 1 日							

## 2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	施設・設備整備	社会福祉事業	既存	老朽化したトランス等の交換工事	有	7,128 千円
	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、一般社団法人日本介護教育協会が実施する喀痰吸引等研修の受講費用を助成する	無	720千円
	小計					
2か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、一般社団法人日本介護教育協会が実施する喀痰吸引等研修の受講費用を助成する	無	720千円
	小計					
3か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、一般社団法人日本介護教育協会が実施する喀痰吸引等研修の受講費用を助成する	無	720千円
	小計					
4か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、一般社団法人日本介護教育協会が実施する喀痰吸引等研修の受講費用を助成する	無	720千円
	小計					
5か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	当法人の職員の資質向上を図るため、一般社団法人日本介護教育協会が実施する喀痰吸引等研修の受講費用を助成する	無	720千円
	施設・設備整備	社会福祉事業	新設	地域密着型施設(長期29床・短期10床)の施設・設備整備	有	100,000 千円
	小計					
6か年度目						
	小計					

7か年度目						
	小計					
8か年度目	施設・設備整備	社会福祉事業	既存	老朽化した建物の施設・設備整備 (大規模改修)	有	127,002 千円
	小計					127,002 千円
9か年度目						
	小計					
10か年度目						
	小計					
合計						237,730 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

### 3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	職員の資質向上を図るため、研修の費用の助成を行うこととした。 既存建物の老朽化に伴う施設・設備の整備（大規模改修）及び居室面積の拡充、 利用者が使用できる共有スペースの充実のため施設・設備の整備 地域密着型施設（長期 29 床・短期 10 床）の施設・設備整備
② 地域公益事業	—
② ①及び②以外の公益事業	—

#### 4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
職員育成 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	720 千円	720 千円	720 千円	720 千円	720 千円	3,600 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	720 千円	720 千円	720 千円	720 千円	720 千円	3,600 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
施設・設備 整備	計画の実施期間に おける事業費合計	7,128 千円				400,000 千円		
	財源構成	社会福祉充実 残額	7,128 千円				100,000 千円	
		補助金					135,130 千円	
		借入金					164,870 千円	
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	6か年度目	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計	
施設・設備 整備	計画の実施期間に おける事業費合計			1,200,000 千円			1,607,128 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額			127,002 千円			234,130 千円
		補助金						135,130 千円
		借入金			1,072,998 千円			1,237,868 千円
		事業収益						
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

## 5. 事業の詳細

事業名	職員育成事業	
主な対象者	当法人に在職する職員	
想定される対象者数	20人	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成33年3月31日	
事業内容	当法人の職員の資質向上を図るため、一般財団法人日本介護教育協会が主催する喀痰吸引等研修の受講費用を補助する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	職員4名を対象に費用助成を実施
	2か年度目	職員4名を対象に費用助成を実施
	3か年度目	職員4名を対象に費用助成を実施
	4か年度目	職員4名を対象に費用助成を実施
	5か年度目	職員4名を対象に費用助成を実施
事業費積算 (概算)	18万×職員4名(単年度)×5か年=360万円	
	合計	3,600千円(うち社会福祉充実残額充当額3,600千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	施設・設備整備	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成38年3月31日	
事業内容	既存建物の老朽化に伴う施設・設備の整備（大規模改修）及び居室面積の拡充、 利用者が利用できる共有スペースの充実のため施設・設備の整備 地域密着型施設（長期29床・短期10床）の施設・設備整備	
事業の実施スケジュール	1か年度目	老朽化したトランス等の交換
	2か年度目	—
	3か年度目	—
	4か年度目	—
	5か年度目	地域密着型施設（多床室）（長期29床・短期10床）の施設・設備整備
	6か年度目	—
	7か年度目	—
	8か年度目	老朽化した建物の施設・設備整備（大規模改修）及び居室面積の各 拡充、利用者が利用できる共有スペースの充実のため施設・設備の 整備
	9か年度目	—
	10か年度目	—
事業費積算 （概算）	建物付属設備 7,128千円 建物本体・設備 1,600,000千円	
	合計	1,607,128千円（うち社会福祉充実残額充当額234,130千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

## 6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

昭和56年度に建築した建物について35年が経過し、建物の老朽化が顕著になってきている。また、平成23年に発生した東日本大震災の地震に対して、耐震診断したところ、許容値を若干上回っただけで、次に同程度の地震がきたとき、倒壊しないとも限らない状況と予想できる。数年をかけて建築士等と協議を行い、建物の大規模改修を行うこととしているが、建築費指数の高騰もあり、5か年度を超える見込み計画となっている。

平成25年度に購入した土地（その他の固定資産計上）に関して、当初グループホームを含めた多機能型施設又は地域密着型施設を新設で建設予定であったが、補助金の関係や建築費指数の高騰及び人材不足等もあり、当初の建設予定より計画の変更等検討する事により建築が遅れている。理事会及び評議員会にも長期の事業計画として説明をしており、5か年度目を目標とした施設建設予定である。

なお、社会福祉充実残高が多額であるため、5か年度の計画の実施期間内に事業を完了することは困難である。